

京都府環境影響評価専門委員会 議事要旨

1 日時

令和4年5月20日（金）午前10時から10時50分まで

2 場所

Zoom ウェビナーによる web 会議

3 出席者

委員 渡邊委員長、荒川委員、大下委員、黒坂委員、佐古委員、清水委員、高野委員、
田中委員、徳地委員、成瀬委員、布野委員、山地委員、吉村委員

(13名)

事務局 京都府府民環境部 松山技監
環境管理課 笠原課長、その他関係職員

府関係課 京都府農林水産部森の保全推進課、京都府丹後保健所

関係機関 環境省近畿地方環境事務所環境対策課

宮津市商工観光課、市民環境課

京丹後市生活環境課

与謝野町住民環境課

傍聴 8名

4 内容

(1) 開会

- ・ 松山技監挨拶
- ・ 会議成立の報告

(2) 議事：（仮称）京丹後市磯砂山風力発電事業に係る計画段階環境配慮書について

ア 委員会意見（案）並びに委員、関係市町長及び関係課の意見の説明

- ・ 資料3、資料4及び資料5により事務局から説明した。

イ 審議

- ・ 委員会意見（案）についての審議内容は次のとおりであった。
- ・ 審議内容を反映して委員会意見とすることとし、最終的な文言調整については委員長一任とされた。

○ 全般的事項

（委員）

あるエリアで複数の事業が実施される場合、それらの各事業に対しては公平に判断すべきと考える一方、当該エリアにおける累積的影響に非常に不安がある。そういう点についても考慮するようにしたい。

(事務局)

現在の意見案において、累積的な環境影響への考慮を求める旨の記載をしており、御指摘の点には一定の対応ができているかと考える。

(委員)

本事業への意見としては、問題ないと考える。他方で、累積的な環境影響については、事業者だけでなく、我々としてもどのように考えていくべきかが課題である。

(委員)

今の御指摘は、いわゆる総量規制のような視点が必要だという話と理解した。丹後半島では、本件の他にも風力発電事業が計画されているが、発生土をどこで処分するのが問題であり、あるエリアに集中すると災害リスクが高まるので、総合的な評価も必要ではないか。

もう1点、関連することとしては、流域単位の議論である。本件の場合だと、竹野川の流域において、土砂が堆積したら防災的な観点からどうなるのか等をシミュレーションして評価していただきたい。

(委員)

後段の御指摘については、現在の意見案においても言及できているであろう。

(委員)

総合的な見地で考える場合、それを誰が実行するのが問題になる。おそらく、個別の事業者は、他の事業の情報を十分把握することができないのではないか。この委員会で望ましい在り方まで議論すべきかどうかはわからないが、環境影響評価の中でも一定は総合的な見地で考えていく必要があるだろう。

(委員)

重大な影響を回避又は十分低減することができない場合は、事業計画の見直しを行うこと、との記載があるが、この見直しには中止も含まれるのか確認したい。本件は、事業規模が大きく、環境への影響も大きい可能性があるため、中止という概念を含めた方がよい。

(事務局)

事業規模の縮小又は中止も含めて見直しを行うこと、という趣旨で委員会意見案に記載している。

○ 個別事項（3）地形及び地質

(委員)

現在の意見案では、浅層崩壊についてのみ触れているが、浅層崩壊だけではなく、深層崩壊も警戒すべきという観点で、修正してはどうか。

(事務局)

御指摘の趣旨に沿って修正する。

ウ 今後のスケジュール

- ・ 事務局から次のとおり説明した。委員からの意見等はなかった。

<事務局説明内容>

- ・ 委員会意見(案)について、審議内容を反映し、取りまとめの一任を得た委員長の確認を踏まえて委員会意見とする。
- ・ 委員会意見の内容については、事業者への知事意見の送付に併せて、本府ウェブページに公開する。

エ 意見交換

- ・ 本事業に限らず、広い視点で意見交換を行った。

(委員)

参考資料に環境アセスメントのフローチャートがあり、発電所の場合は、経済産業省が最終的な判断をすることになっている。本日も御意見が出たように、丹後半島で複数の事業が計画される中で、防災的観点から総合的に判断する必要がある。国土交通省や林野庁も関係するだろうが、そういう分野も踏まえて、全体を評価できるようなものを、京都府の中で考えていかなければいけないのではないかと。

(事務局)

防災的な観点については、環境アセスメントのスキームで扱うことが適切かどうか検討が必要と考えるが、熱海市での土石流災害を受けて、京都府内でも盛土箇所を農林部局、土木部局及び環境部局などが連携して点検するなど、災害発生防止の取組を行ってきており、今後も関係部局連携の下で対応していきたい。

(3) 閉会

- ・ 笠原環境管理課長挨拶